

法務省旧本館と明治生命会館見学

コース：桜田門駅 ⇒ 法務省旧本館 ⇒ 法曹会館 ⇒ 楠木正成像 ⇒ 明治生命会館

⇒ ランチ明治安田生命ビル地下1F「衞保希」 ⇒ 三菱一号館(修復中) ⇒ 丸ノ内線東京駅

参加者 10 名、コース約 2.5km

法務省旧本館(赤レンガ棟)の食堂を復元した展示室にて集合写真



自分の入る場所を空けておかなかったので、合成は失敗

加来：雨が1日100%降り続けるのを承知してでの出発！桜田門駅で下車なのにうっかり者4人が有楽町駅迄行ってしまい引き返すはめに為り申し訳ないです🙄建物見学なので雨は気に為らず、赤レンガ棟は何度みても迫力が有り圧巻です！法曹会館でのコーヒタイムの後からは雨足は強く、楠木正成像との対面時にはかなり激しかったです、広々とした皇居外苑では10人が傘を差しても行動可能でした！明治生命館はGHQが占領後使用する目的で破壊を免れました。コリント様式の柱は優美で遠目にも威厳が有りました！牧野氏故郷の土佐料理を頂き満腹で気が弛んだのか有楽町駅からの乗車予定が東京駅まで歩き丸の内線での帰宅に為りまして、再度うっかり者でした！

小原：台風を物ともしない超元気印のメンバー10名が所沢駅に集い、久しぶりの都内探訪という事で期待感に胸躍らせいざ桜田門へGo！



下車駅の桜田門駅に到着しても4名が話に夢中で降りる気配無く、大きな声で叫ぶも気づかずドアが閉まり、またも語り継がれる出来事になりました。地上に出ると特徴ある警視庁の建物と、歴史的建造物の法務省旧本館の赤レンガ棟の建物が眼前に現れ圧倒的な存在感を示していました。早速赤レンガ棟の法務史料展示室を見学。職員の方の解説を興味深くお聴きして新たな事を学ぶことができました。次に訪れた法曹会館ではサロンのソファに座り美味しい「森のコーヒー」をいただきながらの仲間との語らいの時間は貴重な交流の憩いのひと時となりました。続いて皇居二重橋の近くに建つ国の重要文化財である明治生命館を見学。荘厳かつ華麗な外観内観家具を拝見して感嘆。その後土佐料理「祢保希」にてランチ。美味しい鰯料理をいただき大満足。今回は傘を差し足元を気にしながらの散策でしたが全員無事に東京駅から帰途に就くことができました。

田淵：六月にしては過去最高の雨量を観察したとニュースが流れています。「雨にも負けず、風にも負けず、高齢者は無敵です」この言葉をスローガンに掲げて集合した面々…。かく言う私は「雨は嫌ですよ、無敵ではありません」と思いながら雨に濡れても大丈夫なコーディネートが前日から出来上がっていました。

赤レンガの法務省のギャラリーは重厚で幕末から明治の新政府に移り替わる様子がガイドさんの説明で理解が出来ました。その後法曹会館に行き「森のコーヒー」を飲みながら談笑タイム、広々したお部屋でいい気分になりました。この法曹会館は若かりし頃にちょっとした思い出があり、再び此処に来られて懐かしかったです。

「祢保希」の土佐料理ランチ、「目に青葉山ほととぎす 初ガツオ」この一言に尽きます。計画して頂いた、加来さん有り難う御座いました。

追伸：楠木正成像を観に行く途中で宮迫さんから加来さんに「楠木正成は関西の人なのにどうして皇居に銅像が有るの」と質問されて、加来さんから私も仲間に入れられて「えーそれはねー」と困りました。加来さんもたじたじで、私なんか皇居だからよなんて言ったりして…

レポートの余った箇所に 答えを教えてください。

西嶋：100%大当たり😄！！ 雨☔の一日も何のその、とても充実の散策になりました。旧法務省のバルコニーからのお堀の眺め、法曹会館でのゆったりした休憩は良い体験でした。次の明治生命会館も学生時代にバイトした場所だったかなあと懐かしく、更に昼食のカツオがまた美味しく、と実に good なコースでした😊

加来さん、お世話様でした。楽しい企画本当に有難うございました🍷



赤レンガ棟バルコニーから桜田門



小林：台風の情報に気かけながらも、ところ会は大雨にはならないと信じて所沢駅へ。集まった人達の、行くのが当然のこのような顔を見て、逞しさを感じました。

傘越しに見遣る皇居の緑かな

季語＝緑（夏）

和田：台風の影響下の当日でしたが、皆様の足元は軽やかでした。初めて訪れる法務省赤レンガ棟の美しさに目を奪われました。我が国の司法制度の確立に尽力された初代司法卿 江藤新平。フランス人法学者ポアゾナードが母国フランスの刑法典を元に編纂の経緯等をもってわが国の近代西洋的な法典の出発点として旧法が位置づけられた事を知り得た事は大きな収穫でした。

様々な人々の生きた証の中に今日があるのですね。貴重な経験させて頂きました。加来さんありがとうございました。皆様お疲れ様でした。

山本：雨を承知の強行開催でしたが、強い雨になったのは帰宅後でしたので幸運でした。法務省旧本館(赤レンガ棟)での展示、法曹会館でのコーヒータイム、祢保希でのランチ等僕が決して考えないコースで、計画ありがとうございました。自分が計画するといつも同じようなものになってしまいます。他の人、特に女性が計画する重要性を再認識しました。

自分がついて行くだけだと乗換駅も気を付けておらず、他の人について行くだけと思ったらリーダーが乗り過ごし、こんなこともありますよね。

子供の頃、我が家には東京の絵地図（鳥瞰図）がありました、その中でお堀端に GHQ と書いてある白い建物が記憶に残っており、それが第一生命のビルだとずっと思いこんでいました。今回ようやく明治生命ビルだという事が分かりました。そういえば我が家の柱時計は米軍の施政下にあったので「maid in occupied Japan」と書いてありました。

何故、楠木正成が皇居にあるのか

後醍醐天皇は、再び天皇中心の政治を行なうために、鎌倉幕府の倒幕を決意します。天皇の求めに応じていち早く挙兵したのが楠木正成で後に足利尊氏が天皇方に加わり鎌倉幕府が倒れ後醍醐天皇の「建武の新政」（僕らは建武の中興と習いましたね）が始まります。しかし、公家を優先する新政に不満を持つ武士により足利尊氏と後醍醐天皇の戦いが始まります。この時も楠木正成は天皇方につき、最後は負けることがわかっている戦いに挑み、戦場で切腹しました。このことから、楠木正成は最後まで天皇への忠義を貫き続けた「忠臣」となりました。すなわち天皇家に忠義を尽くしたので皇居に銅像が置かれたという事です。

楠木正成像は、大阪の富豪「住友友忠」が 1900 年に住友家の記念事業として宮内省に献納を決めたのだそうです。やはり宮迫さんの言われる通り関西の方がより人気があったのかもかもしれませんね。なお銅像は、隠岐島を脱出した後醍醐天皇を、39 歳の楠木正成が兵庫の道筋でお迎えした時の姿だそうです。

以上はインターネットで見た情報を元にしたので、違っている所があるかもしれません。 山本

各写真はクリックすると拡大します。